

ジャマイカ便り

第13号 11月

2024年度 青年海外協力隊 馬渕 萌子 青少年活動

ワグワーン！（調子はどう？）岐阜県のみなさん、こんにちは。JICA青年海外協力隊2024年度1次隊、青少年活動で中南米のジャマイカに派遣中の馬渕萌子（まぶち もえこ）です。

先月の三連休を利用して、他の隊員の任地であるジャマイカ東部のポートランド県に遊びに行きました。透明度の高いブルーンラグーンの海をカヤックで進み、モンキーアイランドという無人島にも行きました。カヤックをこいでいる途中にウミガメと出会うことができ、とても嬉しかったです。ポートランドは私の任地からかなり離れているため、移動時間が長くなってしまいましたが、久しぶりに良いリフレッシュになりました。さて今回は、ジャマイカの買い物事情について紹介したいと思います！



ジャマイカの買い物スタイル



ジャマイカでは、スーパーや市場、路上の屋台など、買い物のスタイルがとても多様です。

日本のように24時間営業しているお店はなく、日曜日や祝日は閉店します。市場では、通ううちに顔なじみのお店もでき、名前を覚えてもらったり、少し値引きしてもらったり、おまけをもらったりすることもあります。曜日によってスーパーや市場の品ぞろえが変わるもの特徴です。配属先の近くにある市場では、毎週金曜日になると多くのお店が並び、普段は見かけない手作りのハチミツやスパイスなども売られています。



日本との違い



★ スパイス・ソースの種類がとても豊富！

日本では手に入りにくいジャマイカ料理の調味料や、ジャークチキンに使われるジャークソースも、甘口から辛口までさまざまな種類が店頭に並んでいます。

ケーキの上に瓶が丸ごと乗った大きなケーキ！

★ レジの前で荷物を袋詰めしてくれるスタッフがいる！

基本的に、会計後の袋詰めはお店のスタッフが行ってくれます。お店やスタッフの人数によっては、そのまま車まで商品を運んでくれることもあります。

★ レジ袋が有料で、マイバッグを持参する人が多い！

ジャマイカでは、レジ袋がプラスチックではなく布製のものが一般的です。環境に優しいだけでなく、丈夫で長持ちするので、とても実用的です。

★ 業務用サイズの商品が売られている！

ジャマイカのスーパーでは、家庭用サイズをはるかに超える巨大な業務用サイズの商品も並んでいて、思わず「これ、家で使い切れるの？」とつぶやきたくなります。

★ 輸入品が多く、値段が変動しやすい！

ジャマイカでは、食材や日用品の多くが海外からの輸入品です。そのため、天候や為替の影響で、商品価格が大きく変動しやすいです。



手のひらサイズの小さなキャベツが 85 円！

私は毎週 1 回は市場で買い物をしています。市場では、日本のように小分けではなく、基本的に量り売りがされています。単位はグラムではなくポンド(1 ポンド=約 454 グラム)なので、ジャマイカに来たばかりの頃は少し戸惑いました。ですが、今ではすっかり慣れ、野菜の種類によって「これでだいたい 1 ポンドくらい」と予測できるようになりました。これもジャマイカでの小さな成長の一つかもしれません(笑)。次回は、ジャマイカのクリスマスや年末年始の過ごし方について紹介します。それでは、リックルモア！(またね！)